



情報流通行政局放送政策課政策係長

矢野 圭

YANO KEI

平成 21年 4月 総務省採用
 情報通信国際戦略局国際政策課
 平成 23年 4月 電気通信事業紛争処理委員会事務局
 平成 23年 6月 電気通信紛争処理委員会事務局
 平成 24年 7月 情報流通行政局放送政策課
 平成 27年 4月 総合通信基盤局電気通信事業部
 消費者行政課不適正利用防止係長心得
 平成 27年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部
 消費者行政課不適正利用防止係長
 平成 27年 10月 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課主査
 平成 28年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部
 消費者行政第一課インターネット利用環境整備係長
 平成 29年 7月 情報通信国際戦略局国際政策課北米係長
 平成 29年 9月 国際戦略局国際政策課北米係長
 平成 30年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
 接続制度係長
 令和 元年 7月 現 職

当たり前にあるものを支える

テレビ見えますか？

みなさんは普段テレビを見られるでしょうか？

私は、家にいるときは見ていないときでもテレビを点けていることが多く、日々テレビに触れて生活しています。そんなテレビばかり見ている私がいる一方で、インターネットの動画配信の普及などにより若者を中心とした「テレビ離れ」が進んできていると言われていています。このような状況においてもテレビに代表される放送は、事件・事故、災害の発生時において信頼性の高い情報を素速く、広く伝達できることから、社会的に重要な役割を担っております。

総務省では、通信・放送融合時代において放送の社会的役割を果たしつつ、より中心的なメディアとなれるよう放送サービスのインターネットの活用などに関する取組を行っており、私はその取組の内容について検討を行う仕事をしています。当然、簡単に答えがでるものではありませんが、日々の生活に身近なやりがいのある仕事だと思っています。

情報通信の政策

「情報通信」と聞くと、とっつきづらいと思う人がいるかもしれませんが、テレビや携帯電話などの身の回りのものに当たり前に使われています。また、テレビや携帯電話に止まらず様々なものに使われており、今では電気や水のようになくては困る社会インフラとなっています。そんな身近でかけがえのない情報通信の政策に関わることが総務省の魅力だと思います。

また、「政策」といったときに「制度やルールを作ること」を想像されるかもしれませんが、制度は整備されるだけでなく実行されて実際の効果が生じるもので、実態把握が重要となります。私自身も、省内でインターネットや携帯電話などの電気通信の消費者保護を担当していた際に実態把握の調査を行う機会があり、現場の声を聞く大変貴重な経験ができました。これはあくまで一例であり、総務省の所掌は非常に幅広いので、総務省にすれば、きっとみなさん自身に合った仕事を見つけることができるはずです。

Q 総務省職員のカラーは？

A 公務員は「頭がカタい」というイメージを持たれていると思います。たしかに制度を所管しており、間違いがあってはならない業務を行っていることから、そういったイメージに当てはまる場合もあるかもしれません。ただ、情報通信分野は新しい技術に触れる機会が多くそれだけではやっていけません。「頭がカタい」部分もあるけれど、日々刺激を受けてものごとを柔軟に考えられるのが総務省職員だと思います。

Q ICT行政に求められる能力は？

A 情報通信分野は技術革新が速く、5G、IoT、AIなどの新しい技術を用いたサービスがどんどん登場するため、そのサービスに興味を持つ「好奇心」が大事だと思います。好奇心を持ってサービスに接することで、消費者目線の取組を行っていきと思っています。最近、我が家にAIスピーカーがやってきました(笑)。

Private Time

最近2歳になる息子がおります。この前、私の両親も含めて親族総出で誕生日をお祝いし、大変楽しい時間が過ぎました。息子はプレゼントをたくさんもらって、にやにやしていました。休みの日は家族に触れることで日々のリフレッシュとなっています。

